



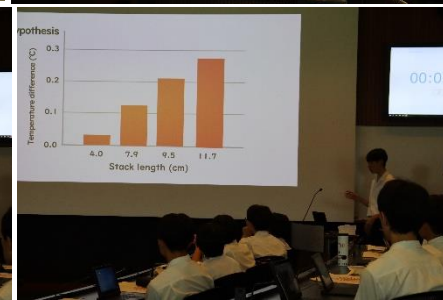
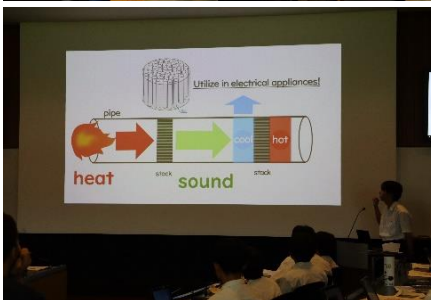
沖縄科学技術大学院大学 (OIST) 研修

新たなイノベーションを行うために、50以上の国と地域から世界のトップレベルの研究者が集まり、分野を越えて研究を行っている大学が日本にあります。それが沖縄科学技術大学院大学 (OIST) です。この大学のスバンテ・ペーボ教授が2022年にノーベル生理学・医学賞を受賞されました。研究スタッフの半数以上が外国籍であり、学内の公用語が英語であることでも知られています。そんな研究の最先端にあるOISTに、理数科3年生の21名が研修に行ってきました。



英語での研究発表と質疑応答

理数科3年生は6月に英語でのプレゼンテーションに挑戦しました。その中で評価の高かった5グループが、OIST で発表を英語で行いました。生徒たちはしっかりとした発表を行うために移動時間も緊張感をもって準備を行い、OIST の方々に熱意の伝わるプレゼンテーションを行うことができました。質疑応答では、準備していた質問に的確に答えたり、準備できていない質問には互いに相談しながら考えて答えたりすることができました。OIST の方々からは深まりのある研究ができていないとコメントをいただきました。



発表と質疑応答の様子



沖縄科学技術大学院大学ツアー



大学ツアーでの生徒の感想としては、日本にいるにもかかわらず海外の方が多く、外国にいるようだった。OIST では母国語が英語ではない学生が8割もいて、充実した英語教育のプログラムが組まれていることに驚いた。研究のストレスを解消するために、様々な建物デザインの工夫がなされていることに驚いた。OIST に入学し研究したいなどがありました。

2泊3日の研修を終えて(参加した生徒の感想)

この3日間の研修を通じて、沖縄という佐賀とは異なる風土の中で、国際的に研究活動を行う研究者やSDGs達成に取り組む方々の姿を見たり、現地でしかできない活動を体験したりすることができました。この経験を今後活かしていきたいです。

最後に、今回の研修旅行を企画して下さいった先生方並びに後援会の皆様、本当にありがとうございました。また、後輩のみなさんが研修に参加してみたいと感じてくれたらうれしいです。